



## 祝 ご長寿おめでとうございます ～いつまでも元気に長生まで～

話題がいっぱい!  
なかゆくい

敬老の日に、市長がカジマヤー（数え年97歳）と100歳を迎えるおじいおばあ6人のお宅を慶祝訪問しました。今年度、市内では66人がカジマヤー、30人が100歳を迎え、新100歳の長寿者には内閣総理大臣や沖縄県知事からの記念品と市からの目録が贈呈されました。それぞれの自宅では、おじいおばあ長寿を祝おうと家族が勢揃いし、三線の演奏やカチャーシーでにぎやかな敬老の日となりました。

### 8/22(木) 友好都市の中国泉州市で異文化体験

浦添市・泉州市小中学生交流事業の報告会が浦添市役所で行われました。この事業は8月5日から9日の日程で市内の小中学生16人が浦添市の友好都市である中国の泉州市を訪問し、国際感覚を身に着けた人材の育成やお互いの文化に対する理解と友好の絆を深める事を目的としています。

報告会では、おそろいの赤いシャツで市役所を訪れた子どもたちが自分の名前を中国語で自己紹介し、「泉州市の市花がデイゴで、沖縄県花と同じことがうれしかった」「教科書やニュースで見てきた中国のイメージが実際に行ってみて違うことに驚いた」など、それぞれの思いを楽しく報告しました。

### 8/22(木) 新たな地域の活性化に向け

「シンパネットワーク・大成ホーム協力事業 令和元年度市民の夢応援プロジェクト～第19回浦添市まちづくりプラン賞～」の受賞団体表彰式が市役所で行われました。

8月10日（土）に行われた公開プレゼンテーションを受けて、選考審査の結果、エイサー・琉球太鼓などを海外へ紹介し普及させる活動、公園にガジュマルを植栽し茶山公園のシンボルとして再生させる活動など、14団体の活動が評価されました。選ばれた各団体は、助成を受け、今後それぞれのまちづくり活動に取り組みます。

西江重信審査委員長から、「限られた予算と時間の中で、地域の文化として広がりができるように頑張ってください」とエールが送られました。



又吉 芳子さん (新100歳)



銘苺 進さん (新100歳)



### 9/6(金) 甘くておいしい「桑の実ソルベ」

9月8日の桑の日にちなみ、市内幼稚園・小中学校の給食で桑の実ソルベが提供されました。浦添市では、市の特産品である桑の葉（しまぐわー）を使った給食を積極的に提供していて、しまぐわーの沖縄そばやちんすこうなどいろいろな献立があります。

この日、子どもたちは栄養士からしまぐわーについての説明を聞き、食後のデザートを味わいました。牧港小5年の田仲康倫さんは「桑の実ソルベは甘くておいしかった。前に出てきたしまぐわーの沖縄そばもおいしくてお腹いっぱい食べた」と桑を使った給食に大満足の様子でした。



### 8/26(月) 県内初ショートメッセージで 受診率アップに期待

浦添市民の大腸がん検診受診率向上を図ることを目的に、浦添市、ケイスリー株式会社、株式会社アクリートは、SMS（ショートメッセージサービス）を活用した検診のお知らせに関する連携協定を締結しました。この協定により、国民健康保険加入者の大腸がん検診対象者への効果的なメッセージ内容の検討や検診における市民ニーズの把握などを連携して行います。

ケイスリー株式会社の幸地代表取締役は「浦添発のモデルとして、この事業を成功させ他の自治体にも展開していきたい」と話し、株式会社アクレートの田中代表取締役社長は「到達率の高いSMSを利用することで受診率の向上につながれば」と期待を込めました。



高里 芳子さん (カジマヤー)



名護 英治さん・ミツエさん (カジマヤー)



宮城 貢さん (カジマヤー)



下地 勝三さん (カジマヤー)